

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣の高齢者の野菜や惣菜の購入頻度が増えている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・テレビ、雑誌などメディアで取り沙汰されているアベノミクスの効果もあるかもしれない。本格的な不景気と言われ始めたのは5～7年前であったらどうか、この間、東日本震災等もあり、生活する上でいろいろ節約や我慢をしてきた人も多いはずだが、それが今、アベノミクスに乗って解放されているような印象を受けている。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・低価格の新商品の発売が消費者に火をつけたようで、売上が上向きに推移している。売上が価格に左右されていることを考えると、完全に景気回復に向かっているとは考えられないが、現状では大変好調である。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	お客様の様子	・商談の中で、消費税増税や金利上昇の話が具体的に出ており、受注スケジュールがより具体的に検討されるようになってきている。そのため、商談への真剣さを感じられ、受注増が期待でき、景気は上向きにあるとみる。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・個人住宅用地を求める客や、個人住宅やアパート建築に関する相談が増えている。
	変わらない	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・当月の売上は前年比では101%である。前月は気温低下傾向で衣料品が苦戦していたが、今月はやや回復の兆しがうかがえる。ただし服飾雑貨が低調となり、全体では伸び悩む。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上、来客数共に前年並みで推移しており、景気は横ばいである。
		スーパー（販売企画担当）	販売量の動き	・売上の前年比は来客数の前年比より3%減少している。理由としては、競合店の増加や業態を超えての競争が推測される。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比10%減の状態が続いている。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月は雨が多く、アイスや氷、乳製品、制汗シートや日焼止め等の売上が悪く、前年割れが大きかった。天候による来客数減はあるが、単価は前年を超えており、個人の消費意欲は落ちていない。	
	その他専門店【楽器】（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークまでは非常に来客数が多かった。以降は途端に来客数が減っている。日本は景気が上向いているようだが、沖縄観光が上向くのは梅雨明けから夏の祭りシーズンの頃になるとみており、それまでは厳しい状況かもしれない。	
	その他専門店【書籍】（店長）	販売量の動き	・3か月前から悪いままで、変化を感じられない。	
	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・世間的にはアベノミクスの効果や株価の高騰など良いニュースも耳にはするものの、稼働率の前年比プラス幅は、3か月前からはあまり変わっていない。大きな上向き傾向は感じられない。	
	やや悪く なっている	その他飲食【居酒屋】（経営者）	来客数の動き	・連休明けから給料日の間は例年来客数が落ちるが、今年は過去最低で推移している。地元客が平日、特に午後10時以降ほとんど動かず、いろいろなイベントを打っているが反応が薄い。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・単価の低い競合他社の方に流れている。当社としては単価を下げるか上げるか、そのままにするか検討中である。
	悪く なっている	-	-	-
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは減少しており、民間工事向けもやや減少で、全体ではやや減少している。

		輸送業（本社事業本部）	受注量や販売量の動き	・同業種内でも受注量が多少増加しているところもあれば減少しているところもあるが、全体的にはほとんど同じ取扱量で、取扱量が大きく増減している取引先はみられない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務）	それ以外	・今月は更に円安となり、原料の先物価格も出てこない状況となっている。原油その他も値上げとなり、先行き運賃や包材等の石油由来の材料の値上げも予想され、原価上昇が気がかりである。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注件数及び受注金額が下がっている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・年度の初めから案件受注の遅延が増えている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・企業の求人は、ある程度堅調である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・景気が上向きになってきている兆しなのか、一過性のもなのか定かではないが、経験者募集の求人が増えている。しかし適材の人材が少ないという企業の声が多い。新卒の採用枠も前年より増加している。
	変わらない			
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-